

出前中堅教員サポート塾

8月1日に、いすみ市では「人材育成について」と「校内研究（研修）について」、8月6日に、横芝光町では「学校教育と教育関係法規について」と「人材育成について」の出前中堅教員サポート塾を開催しました。

どの先生方も熱心に演習に取り組み、活発に意見交換する姿が見受けられました。以下、参加者の感想を紹介します。

いすみ市（令和6年8月1日） 参加者24名

当日の様子と参加者の声



中堅教員として、今後若手教員のサポートをしたり、先頭に立って学校運営に携わっていったりすることの大切さを知りました。今の自分にできることを少しずつ実践していきたいと思いました。



中堅教諭として、学校の中核を担っていくという意識をもち、若手教員と共に成長していくこと、校内研修をより良い在り方にしていくことを目標に、職務にあたりたいと思いました。



研究主任として、校内研修の進行に悩んでいたもので、今回の研修がとても参考になりました。またメンターとしての立場をよく分かっていなかったもので、今後より良いミドルリーダーになれるよう頑張っていきます。

横芝光町（令和6年8月6日） 参加者24名

当日の様子と参加者の声



法規に基づいて我々の仕事があることを理解し、必携を手元に日々の指導にあたりたいと思いました。人材育成については、相手に考えさせることを大事にし、共に成長できるような職場の雰囲気づくりに努めたいと思いました。



教員として自信をもって行動できるよう、教育法規を意識していきたいと思いました。またコーチングなど、人材育成の効果的な方法を意識して若手に関わっていきたいと思いました。



働きやすい職場になるように、コミュニケーションを多くとり、相談しやすい雰囲気を作ることはもちろん、コーチングを意識して相手の意欲を高められるような声かけをしていきたいと思いました。